

踏み跡 <My Mountains>

奥多摩	御岳山から金毘羅尾根縦走	No.141
-----	--------------	--------

昭和45年1月4日

昨年の後半から始めている道志山塊探索計画のひとつとして北道志の頭部を探る予定だったが、正月ボケで寝坊してしまった。やむを得ず奥多摩へでもということにしたが、空模様が暗く怪しい。ならば楽な登山に切り替える方が得策ということになり、予てよりの懸案事項であった金毘羅尾根へ出かけてみることにした。青梅線は曇天の寒々しい日に乗るものではない。電車の中で縮まって座っていないと辛いし、車窓の景色も緑を忘れて幾久しい季節となれば何か冷たく寂しい。家々の軒先に何とはなしに新しい年の息吹きが漂っているのが僅かな温かさかもしれない。

御岳で下車した後はお決まりのコースで御岳山神社へ。御岳山神社で初詣と洒落てみた。

数日前にご来光を見にきた多くの人たちの足跡を踏んで奥の院を回り、日の出山への稜線へ。

このあたりは、高水三山と並んで小学生が遠足に来るような、奥多摩ではポピュラーなコース。晴れていれば富士もあるし東京方面もよく見える筈なのだが、雪が降りそうな重苦しい雲の下で残念この上なし。

足元の枯れた木や草がぶつかりあう音を耳に集めながら歩く。静かな山歩きこそ今年の初登山にふさわしいのかもしれない。

ゆったりとした起伏で日の出山に立てば、後は優しいスロープで金毘羅尾根を下るばかり。

金毘羅尾根に入り散歩気分で行っているうちに雪が降り出して来た。

奥多摩の低山でなら、雪に降られてもさしたる苦闘の必要もなければ緊張もない。落ちてくる雪を楽しみながら五日市へ下りた。

初登山、初詣、初雪。静かな山の静かに降り続ける雪、雪の上の自分の足跡、美しい初春の風情を味わうことができた。

以上

